



令和4(2022)年度

事業計画書

一般財団法人大阪府青少年活動財団

大阪市浪速区幸町2丁目7番3号 リそな・アルテ桜川ビル4F

令和4(2022)年4月1日から

令和5(2023)3月31日まで

令和4(2022)年度 事業計画書

今、変わらないでいつ変わる。
子どもたちの現状に一層寄り添い、
社会と繋がる財団を目指す。
～青少年健全育成の歩みを止めない～

わたしたちは次代を担うこころ豊かな青少年をはぐくみ続けます。

SDGsの考えに則り社会との繋がりを重視しながら、持続可能な社会の一員として、その実現に向けて事業企画や施設運営を実行します。

コロナ禍にも耐え得る経営基盤を確立すべく、機構改革・意識改革を含めたさまざまな取り組みを進めます。

事業や研修の実施に際しては、感染症拡大防止のため、常に最大限の努力を払います。

令和4(2022)年度 事業計画書

▶ コロナに負けない事業展開

2022年度の事業規模はコロナ禍以前の概ね7割を目標として実施します。

感染症対策はもとより、コロナで社会に生じた「分断」を埋める事業を展開します。

▶ SDGsターゲットを意識した事業展開

立案段階からSDGsターゲットを設定し、より効果を高られるよう工夫を行います。

新規事業にチャレンジします。

「ひとり親家庭のためのファミリーキャンプ(仮称)」

「シニアスキー事業」 他

市町村連携事業を強化します。

各市町村の青少年関連事業を受託し、市町村レベルから、大阪府の子どもたちの健全育成を底上げします。

出張型NOS/HRTプロジェクト事業の拡充します。

宿泊行事や施設へ赴いての行事ができなくなった学校、企業に向けて出張型NOS/HRTの広報を強化します。

令和4(2022)年度 事業計画書

▶ I. 公益目的事業

SDGsターゲット: 1, 3, 4, 5, 10, 16, 17

ユニバーサル事業の継続実施

現代の青少年が抱える課題解決に向けて、社会のニーズに応える公益性の高いユニバーサル事業を実施します。

→対象: 全5事業・延べ174名

新たな公益目的事業のあり方を模索します。

前述の「ひとり親世帯向けキャンプ」など、社会の変化に合わせた公益性の高い事業を創出します。

青少年活動リーダーの育成を継続します

新人リーダー40名の確保を目指します(現在籍総数75名)。

ユースリーダー、なるかわリーダーの融和を念頭に、双方の良さを引き出せる事業計画を心がけます。

年間15回の研修+2回の公開講座・・・それぞれにSDGsの理念を導入し、社会貢献への意識付けを行います。



(P.22参照)

令和4(2022)年度 事業計画書

I. 公益目的事業

公益目的財産額	年間平均認定事業予算	目的支出計画期間
254,455,826円	9,593,000円	27年

No	事業名	予定期間	共催団体	備考
1	青少年活動 リーダー育成事業	年間		採用新人予定数 40名 (現在籍総数 75名) リーダー研修：年間15回
2	公開講座	11月 2月	大阪府キャンプ協会 他	リスクマネジメントセミナー 関西野外活動ミーティング
3	「シーカヤックチャレンジ」	9月	大阪府立青少年海洋センター	障がい者カヌー事業
4	「のびのびキャンプ」	プレ 9月 実施 10月	公益財団法人 関西テレビ青少年育成事業団 特定非営利法人アサヒキャンプ	自閉症の子どものキャンプ
5	「ゆうゆうキャンプ」	5月 10月 1月	公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団	家庭児童相談室に來所する 児童生徒の体験活動

SDGsターゲット: 1, 3, 4, 5, 10, 16, 17

令和4(2022)年度 事業計画書

▶ II. NOS/HRTプロジェクト事業 SDGsターゲット:4, 17



一人ひとりが豊かな人間関係を築く機会を提供します。

「コミュニケーションの未熟さ」や「自然体験の不足」など現代の青少年の課題解決に向けた取り組みを進めます。

特にこのコロナ禍においては参加者が安心して参加できるよう、「出張型」にも対応するための体制を充実します。

ソーシャルディスタンスを意識し、クライアントの要望に応じてアレンジし、不安を軽減するプログラムを開発・実施します。

	参加者数目標／延べ人数	事業収益目標額
2022年度予定	6,000人／15,600人	65,000,000円
2021年度当初	5,000人／13,000人	54,000,000円
2021年度見込	4,500人／5,000人	30,650,000円

※収益目標額には講師派遣事業の内、NOS/HRT型事業分6,000,000円を含む

令和4(2022)年度 事業計画書

▶ II. NOS/HRTプロジェクト事業

I. NOS/HRT(ヒューマン・リレーション・トレーニング)プロジェクト推進事業

- (1) 学校・青少年団体等への体験活動の機会提供、および集団づくり・人間関係づくりプログラムの提供
- (2) 企業等への組織づくり・コミュニケーション能力向上プログラムの提供
- (3) 学校クラブ・スポーツクラブ等へのリーダー育成プログラムの提供
- (4) 教育委員会との「教員研修」等での連携事業(大阪府教育センター、豊能地区他)
- (5) 「出張対応」等での教育現場との連携事業(寝屋川市、たつの市、福知山市各教育委員会他)
- (6) 「新しい生活様式」に対応した「人間関係づくり」プログラムの開発・導入

2. 野外活動指導者の養成

- (1) 機関連携での資格認定講習会の実施
- (2) 大学・専門学校等からの野外活動指導者資格取得講習を併用したNOS/HRT事業受託



令和4(2022)年度 事業計画書

■ Ⅲ. 自然体験事業

SDGsターゲット:3, 4, 14, 15, 17

- ・ 育成事業部および吉野宮滝野外学校で実施する事業
- ・ 各会場施設の特色を活かし、青少年の「生きる力」を育みます。
- ・ 新規10事業を含め、12会場において52事業・延べ3,348人を対象に実施します。
- ・ 自治体や学校・企業などの要請に応じ、野外活動プログラムの企画・運営や青少年活動の講習会講師など、次代を担う地域人材を育成します。
- ・ 感染症対策の一環として、各事業の定員を従来比6割～7割に抑えて計画します。

*感染症の収束状況を見ながら徐々に緩和を図ります。



令和4(2022)年度 事業計画書

■ Ⅲ. 自然体験事業

1. 募集型企画事業の実施 (P.23, 24参照)

- (1) 心身が開放される自然環境の中で、実体験の場を提供します。
- (2) 四季折々の自然に触れ合うことのできるフィールドでの実施します。
- (3) 様々な年齢層に自然への感動と自己確立を図る活動機会の提供します。
 - ① 幼児には、穏やかな環境のもとでの集団活動体験を
 - ② 小学校低学年には、自然との出会いとグループ活動を
 - ③ 小学校高学年には、様々な自然環境のもと、自尊感情を育む体験活動を
 - ④ 中学生～高校生には、自己への気づき・他者への関わりを育む体験活動を
 - ⑤ ファミリーには、家族内や家族間の交流を促進する活動を
- (4) 体験活動を通し、スキルアップやチャレンジ精神を養う機会の提供します。
- (5) ひとつひとつの事業においてもSDGsターゲットを意識して立案、展開します。

	年間事業数	参加者数目標／延べ人数	事業収益目標額
2022年度予定	52事業	1,624人／3,348人	37,696,000円
2021年度当初	53事業	1,446人／3,082人	22,366,000円
2021年度見込	40事業	1,247人／2,671人	25,835,000円

令和4(2022)年度 事業計画書

▶ 2. 機関連携事業 (P.24参照)

2022年度は、自治体や学校団体などへ働きかけを強化し、コロナ禍で失なわれた市町村主催キャンプなどの体験活動の機会を支援していきます。

(1) 摂津市チャレンジクラブ(夏期キャンプ・冬期キャンプ)(受託事業:摂津市教育委員会)

(2) 泉大津市チャレンジ事業(受託事業:泉大津市教育委員会)

(3) 箕面市立青少年教学の森野外活動センターでの青少年キャンプ事業の運営

(受託事業:株)OUTDOORLIVING(教学の森指定管理者))

(4) 東大阪市立野外活動センター「自由の森なるかわ」での青少年キャンプ事業の運営

(受託事業:株)ReCamp(なるかわ指定管理者))

(5) 講師派遣事業(高槻市教育委員会、国立青少年教育振興機構、大学・専門学校・高等学校他)

(6) 青少年育成大阪府民会議への参画

(7) 「こころの再生」府民運動への協力

令和4(2022)年度 事業計画書



IV 施設運営 SDGsターゲット:3, 4, 5, 10, 11, 12, 14, 15, 17

I. 自主施設の運営

(1) 吉野宮滝野外学校 第二期長期使用貸借契約10年間の3年目

吉野町との協働により、閉校された吉野町立の元小学校を活用し、財団が自主運営している「人を育てる野外学校」として、自然や地元の人々の温かさに触れながら、NOS/HRTプログラムやさまざまな自然体験事業を通じて、非日常性あふれる豊かな体験の場を提供します。

引き続き施設・設備の整備を進め、人材や食材など吉野町の地域資源を活かした施設運営を目指します。

2019年度末より続く新型コロナウイルス感染症対策として各宿泊室に空気清浄機を配置するなど、感染症対策にも十分な留意を払いながら、運営を続けていきます。

	年間運営経費	事業収入目標額	年間利用目標人数(延べ)
2022年度予定	33,094,000円	19,860,000円	14,700人
2021年度当初	27,897,000円	14,700,000円	11,000人
2021年度見込	32,607,000円	11,893,000円	8,400人

令和4(2022)年度 事業計画書

(1) 吉野宮滝野外学校

① 第二期賃借期間:3年目での運営の安定化

- ・近隣地域ならびに、奈良県内の団体・学校への利用および連携の促進
- ・新規プログラム、フィールドの継続的開発
- ・町施策、地元周辺団体との連携、協働
- ・自然体験活動事業の展開(P.23参照)
- ・効率的な施設運営による経費節減
- ・様々な団体利用への対応
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインを遵守した施設運営

② 利用促進のための広報の充実

- ・施設見学会、オープンデーの開催
- ・ホームページ、フェイスブック、動画、ICT、新聞メディア等による情報発信
- ・「吉野町広報」や地元ケーブルテレビとの連携、奈良県内学校団体等へのPR活動

③ 施設の改善・環境整備

- ・経年劣化への早期対応
- ・中庭(炊さん場、樹木等)、HACCP法制化への対応を含めた厨房(設備、食器類、食材保管庫等)、居住(宿泊室、研修室等)各エリアの環境整備
- ・地域消防や地元警察との連携強化によるセキュリティーの向上
- ・害虫や害獣への予防と対策



令和4(2022)年度 事業計画書

2. 共同指定管理施設の運営

(1) 大阪府立少年自然の家

第三期共同指定管理10年間のうち7年目

- ・引き続き学校団体を中心とした大規模団体への利用促進を継続しつつ、施設を活用した多様な事業を展開していきます。
- ・学校の利用に際しては、他団体と可能な限り共用にならないように努めるなど、常に安心・安全を提供できるよう意識した宿舍割を行います。
- ・特に耐熱性のあるビニール袋でカレーなどの野外炊さんを行う「防災食クッキング」は配膳により生じる感染リスクを軽減できることから、一昨年の導入以来学校団体を中心に根強く好評を得ており、利用の回帰への大きな呼び水となっています。
- ・2022年5月頃よりこれまでの自主水源から貝塚市営水道への切り替えを行い、より安全かつ安定的な飲用水の供給が可能になります。
- ・自然災害等による危機管理を再度確認するとともに生活環境の改善、食の安全、加えて十分な感染症対策を施し、さらなる利便性、快適性の向上に努め、事業提案を積極的に行うなど共同指定管理団体との連携を図っていきます。
- ・年間利用目標人数(延べ)・・・107,700人
(2021年度:当初目標・・・107,200人、現時点での実績見込み・・・約40,500人)
- ・効率的な施設運営による経費節減に努め、安心・安全な施設を目指します。

令和4(2022)年度 事業計画書

(1) 大阪府立少年自然の家

① 施設環境改善への取り組み

- ・ホームページの整備
- ・宿泊室の整備
- ・野外施設、居住環境、厨房設備の環境改善
- ・消毒、清掃の強化

② 継続的な利用促進

- ・近隣地域、団体への利用促進と地域連携の促進
- ・新規プログラム、フィールドの整備
- ・ホームページ、フェイスブック等SNSによる情報発信
- ・大阪府市逡送便、貝塚市広報との連携

③ 施設主催事業の充実

- ・府施策との連携、協調

<共同指定管理者> 公益財団法人大阪ユースホステル協会



令和4(2022)年度 事業計画書

▶ (2) 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

第四期共同指定管理5年間のうち2年目

二年目となった共同指定管理の枠組みをより強靱なものとし、構成他団体との連携を図ります。
運営体制の慣熟を第一に据え、さらなる来館者へのサービス提供を行います。

同時にコロナ禍に対応した環境を整え、より広い対象をターゲットに、さまざまなイベントや事業を企画、運営します。

青少年コンシェルジュの配置や青少年専用自習コーナー設置・自習室開放などにより青少年の居場所づくり機能を充実させます。

また引き続き青少年へのひきこもり支援事業を共催する等、青少年センターとしての機能を多面的に発揮させていきます。

令和4(2022)年度 事業計画書

(2) 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

① 貸館受付部門の運営

「ドーン事業共同体」での役割として、引き続き貸館受付部門等を担当します。

- ・貸会議室等の受付、施設利用料収受、利用相談、調整
- ・「こどものへや(一時預かり保育)」の運営
- ・ホール、パフォーマンススペース利用の調整

※運営は専門業者に再委託

- ・1Fロビーでの総合受付カウンターの運用による来館者サービスの向上
- ・ドーンセンターの情報(事業含む)発信及び広報PR



令和4(2022)年度 事業計画書

(2) 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

②青少年センター機能の充実

- ・青少年コンシェルジュ(相談機能)の配置
- ・青少年専用自習コーナーの設置(情報ライブラリー内)
- ・財団の青少年活動リーダー育成事業の研修拠点のひとつとしての活用
- ・青少年活動情報コーナーへの事業広報チラシ配架の促進
- ・青少年関係団体の利用登録団体増加の推進と研修会場としての利用促進
- ・青少年関係事業の連携 ※府青少年課、大阪府青少年育成府民会議と連携
 - ・青少年健全育成を主な目的とした野外活動団体とのイベントや研修会の共催及び協力
「リスクマネジメントセミナー」(11月) 「関西野外活動ミーティング」(2月)
- ・「ひきこもりUX女子会」「『中学生の主張』優秀作品展」他、府施策青少年関連事業等の啓発パネル展
(IFロビー展開事業の一部)
- ・ユースフェスティバル(年2回予定)を開催し、事業参加者や一般府民への青少年関連施設及びドーンセンターの
広報、展開事業の啓発 ※「事業担当者部会」と連携
- ・大阪市地域子育て支援拠点事業(子育て支援事業)の受託事業

<共同指定管理者> 株式会社カクタス / 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

令和4(2022)年度 事業計画書

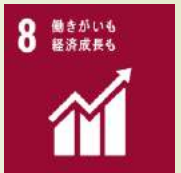
■ V 法人運営 SDGsターゲット:4, 5, 8, 10, 17

1. 理事会

- (1) 第1回理事会(定時) 令和4(2022)年6月10日(金) 午後3時～
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
・令和3(2021)年度事業報告及び収支決算等
- (2) 上半期事業報告会 令和4(2022)年11月上旬
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
・令和4(2022)年度上半期事業報告
- (3) 第2回理事会(定時) 令和5(2023)年3月上旬
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
・令和5(2023)年度事業計画及び収支予算等

2. 評議員会

- (1) 第1回評議員会(定時) 令和4(2022)年6月30日(木) 午後3時～
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
・令和3(2021)年度 収支決算の承認
- (2) 第2回評議員会(定時) 令和5(2023)年3月上旬
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
・令和5(2023)年度事業計画及び収支予算等



令和4(2022)年度 事業計画書

3. 法人運営

- (1) 社会の変革に合わせた機構改革と職員個々の意識の改革を推進
- (2) 新型コロナウイルス感染症や災害への対応を含めた危機管理や
コンプライアンスの徹底などによる、リスクマネジメント力の強化
- (3) 個人情報及び特定個人情報の適切な取扱いとその保護の周知徹底
- (4) ガバナンスの徹底



令和4(2022)年度 事業計画書

4. 第三期中期経営計画の推進

(1) SDGsを実践した法人運営

職員研修等を通じてSDGsへの理解をより一層深化し、
同時に個々の職員の担当する業務へ反映させる道筋をつけ、
持続可能な社会の実現に向けた法人運営を目指す。

(2) 経営の健全化・安定化を目的とした効率化の推進と、収益の最大化

例:リモートを活用した会議や面談のより積極的な導入
ペーパーレス化の推進
電子承認システムの導入の道筋の模索

(3) 計画的な人員採用および育成、ならびに資格取得の推奨などによるキャリア形成の推進

(4) 法令や社会背景を取り入れたより働きやすい職場環境の構築ならびに福利厚生の充実



2030年までの財団オフィシャルマーク

令和4(2022)年度 事業計画書

(5) 中期経営計画の実行と推進（経営企画会議での検討、実行を継続）

① 青少年の今日的課題の解決に向けた新規事業の構築のチャレンジ、プログラムの積極提案と実施

② 法人運営の安定化を目指す経営計画の策定・実行

・青少年育成団体としての専門性の向上と継承

・職員個々の計画的育成に向けた項目の抽出と研修の実施

③ 広報、営業方策の継続検討

（吉野宮滝野外学校のホームページリニューアル、広報活動へのSNSの積極的な導入他）

④ 従来の縦割り組織にとらわれない横断的なプロジェクトチームの設置と機能の強化を狙って設置した

以下の4部会において、それぞれに与えられた領域における革新的な提案と、その実行を担う。

・経営企画会議の諮問機関として原則として主任級以上の職員で構成

①リーダー担当者会 ……リーダー育成計画の再構築と一般化を行い、

より質の高い事業展開と青少年育成団体としての専門性の向上を目指す

②指定管理施設獲得部会……指定管理施設獲得に向けた調査、申請作業を行う

③事業担当者会 ……事業、広報手段の開拓、立案を行い財団のブランド力向上を狙う

④人財育成部会 ……職員のモチベーションアップを実現するための提案を行う

令和4(2022)年度事業計画一覧(資料編)

I 公益目的事業

1. 青少年活動リーダー(ユースリーダー)育成事業

会場: ドーンセンター・吉野宮滝野外学校ほか

カリキュラム		日程
		月 日
1	青少年活動リーダー募集活動 (難波市民学習センター)	「新人リーダーガイダンス」 4月 16日(土)、17日(日)、22日(金)、27日(水)
2	実地研修Ⅰ (大阪府立少年自然の家)	1年目: 「野外活動プログラムの体験」 2~4年目: 「野外技術の習得」「組織の理解」 「野外活動施設の理解」 5月 28日(土)~29日(日)
3	実地研修Ⅱ (府立青少年海洋センター)	「施設の理解」「水辺のプログラムの理解」 新しい生活様式を踏まえて野外プログラムを実証 6月 4日(土)~5日(日)
4	実地研修Ⅲ (吉野宮滝野外学校)	「野外活動施設の理解」「HRTプログラムの理解」 「グループ運営」「組織運営」 7月 2日(土)~3日(日)
5	実地研修Ⅴ (吉野宮滝野外学校)	「夏期事業の評価と振り返り」 8月 26日(金)~28日(日)
6	実地研修Ⅵ (会場未定)	「財団青少年活動リーダーの交流」 「コミュニケーション」「自己理解と他者理解」 11月 5日(土)~6日(日)
7	実地研修Ⅶ (吉野宮滝野外学校)	「1年間の評価と振り返り」 2月 15日(水)~16日(木)
8	実地研修Ⅷ (吉野宮滝野外学校)	「各学年ランクアップ研修」 「リーダー卒業式」 3月 3日(金)~5日(日)

2. 理論研修

カリキュラム		日程
		月 日
1	理論研修Ⅰ (大阪市立西区民センター)	3・4年目: 「ディレクターの役割と企画」 4月 11日(月)、14日(木)
2	理論研修Ⅱ (大阪市立西区民センター)	1・2年目: 「ユースサービス大阪とは」「組織とは」 「青少年活動リーダーとは」 6月 7日(火)、10日(金)
3	夏期事業研修・委嘱式 (ドーンセンター)	「夏期事業内容の理解」「委嘱式」 10日(日)
4	理論研修Ⅲ (大阪市立西区民センター)	「野外活動におけるリスクマネジメント」 7月 未定
5	理論研修Ⅳ (大阪市立西区民センター)	「グループワークとコミュニケーション」 10月 19日(水)、20日(木)、21日(金)
6	冬期事業研修 (会場未定)	「冬期事業内容の理解」 12月 11日(日)
7	理論研修Ⅴ (大阪市立西区民センター)	「青少年の理解」 1月 18日(水)、19日(木)、20日(金)

3. 公開講座

カリキュラム		日程
		月 日
1	リスクマネジメントセミナー (ドーンセンター)	「施設運営・事業運営の安全管理」 「事故事例から考えるリスクマネジメント」 11月 27日(日)
2	関西野外活動ミーティング (ドーンセンター)	「野外活動の実践と理論の融合」 2月 23日(木)祝

4. ユニバーサル事業

5事業 115名 延べ 174名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 ゆうゆうキャンプ①(会場未定)	5月 未定	日帰り	小1~中3	20名	20名
2 シーカヤックチャレンジ(府立海洋センター)	9月 24日(土)~25日(日) 一部日帰り参加あり	1泊2日	一般	40名	64名
3 のびのびキャンプ(吉野宮滝野外学校)	10月 8日(土)~9日(日)	1泊2日	小3~中3	15名	30名
4 ゆうゆうキャンプ②(会場未定)	未定	1泊2日	小1~中3	20名	40名
5 ゆうゆうキャンプ③(会場未定)	1月 未定	日帰り	小1~中3	20名	20名

5. ひとり親家庭のためのファミリーキャンプ(仮称)

1事業 20名 延べ 40名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 ひとり親家庭のためのファミリーキャンプ(仮称) (吉野宮滝野外学校)	秋頃 未定	1泊2日	ひとり親家庭の親と子	20名	40名

II 財団自主事業（募集型企画事業）

1. 吉野宮滝野外学校 24 事業 570 名 延べ 1,110 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 子どもキャンプ塾 初夏編	GW期間中	1泊2日	小1～小6	20名	40名
2 親子で遊ぼう！～新緑の吉野山編～	5月 GW期間中	1泊2日	家族	30名	60名
3 里山体験 in 喜佐谷① ～農業体験&自然観察編～	29日(日)	日帰り	家族	15名	15名
4 里山体験 in 喜佐谷② ～農業体験&自然観察編～	6月 18日(土)	日帰り	家族	15名	15名
5 ファミリーキャンプ6月（ホテル&川を楽しむ編）	18日(土)～19日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
6 親子で遊ぼう！～リバープログラム編～	7月 9日(土)	日帰り	小4～家族	20名	20名
7 吉野1年生キャンプ	30日(土)～31日(日)	1泊2日	小1	30名	60名
8 吉野あそびの学校	未定	1泊2日	小3～小6	20名	40名
9 ファミリーキャンプ8月①（川遊び、沢登り他）	8月 6日(土)～7日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
10 吉野サマーキャンプ	8日(月)～10日(水)	2泊3日	小1～小6	30名	90名
11 ファミリーキャンプ8月②（川遊び、沢登り他）	20日(土)～21日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
12 吉野チャレンジキャンプ	9月 17日(土)～19日(月祝)	2泊3日	小4～中3	20名	60名
13 子どもキャンプ塾 秋編	24日(土)～25日(日)	1泊2日	小1～小6	20名	40名
14 吉野アドベンチャークラブ①	15日(土)～16日(日)	1泊2日	小3～小6	20名	40名
15 里山体験 in 喜佐谷③ 秋野菜の収穫&のこぎり体験編	10月 22日(土)	日帰り	家族	15名	15名
16 ファミリーキャンプ10月(稲刈体験と大台ヶ原トレッキング)	22日(土)～23日(日)	1泊2日	家族	30名	60名
17 吉野ハロウィンキャンプ	29日(土)～30日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	60名
18 吉野アドベンチャークラブ②	11月 12日(土)～13日(日)	1泊2日	小3～小6	20名	40名
19 吉野アドベンチャークラブ③	12月 10日(土)～11日(日)	1泊2日	小3～小6	20名	40名
20 吉野クリスマスキャンプ	17日(土)～18日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	60名
21 里山体験 in 喜佐谷④冬野菜の収穫&野外料理編	7日(土)	1泊2日	家族	30名	60名
22 ファミリーキャンプ1月	1月 7日(土)～8日(日)	日帰り	家族	15名	15名
23 子どもキャンプ塾 冬編	21日(土)～22日(日)	1泊2日	小1～小6	20名	40名
24 ファミリーキャンプ2月（冬山ミニトレッキング）	2月 4日(土)～5日(日)	1泊2日	家族	30名	60名

2. 大阪府立少年自然の家 4 事業 144 名 延べ 320 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 貝塚サマーキャンプ	8月 3日(水)～5日(金)	2泊3日	小1～小6	32名	96名
2 貝塚2 daysキャンプ①	16日(火)～17日(水)	1泊2日	小1～小6	40名	80名
3 貝塚わんぱくキャンプ	17日(水)～18日(木)	1泊2日	5歳～小3	32名	64名
4 貝塚2 daysキャンプ②	21日(日)～22日(月)	1泊2日	小1～小6	40名	80名

3. YMCA阿南海洋センター 1 事業 32 名 延べ 96 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 無人島へこぎ出せ！オーシャンキャンプ	7月 29日(金)～31日(日)	2泊3日	小1～小6	32名	96名

4. 国立淡路青少年交流の家 2 事業 64 名 延べ 160 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 淡路島マリンキャンプ	8月 12日(金)～14日(日)	2泊3日	小1～小6	32名	96名
2 淡路島海水浴キャンプ	16日(火)～17日(水)	1泊2日	小1～小6	32名	64名

5. 大阪府立青少年海洋センター 4 事業 112 名 延べ 296 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 とことん遊ぶマリンキャンプGW	5月 4日(水祝)～5日(木祝)	1泊2日	小1～小6	32名	64名
2 とことん遊ぶマリンキャンプ	8月 14日(日)～16日(火)	2泊3日	小1～小6	24名	72名
3 マリンチャレンジキャンプ	18日(木)～21日(日)	3泊4日	小3～高3	24名	96名
4 フィッシングキャンプ	9月 17日(土)～18日(日)	1泊2日	小1～小6	32名	64名

6. ハチ高原他（スキー・ウィンター事業）

8 事業 286 名 延べ 822 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 ウィンターキャンプ in ハチ高原	12月 28日(水)~30日(金)	2泊3日	小1~小6	30名	90名
2 ジュニアスキー in ハチ高原				60名	180名
3 スキーin志賀高原	3日(火)~6日(金)	3泊4日	小1~高3	32名	128名
4 よくばり!ちびっこスノーキャンプ in ハチ高原	1月 7日(土)~9日(月祝)	2泊3日	5歳~小3	32名	96名
5 ファミリースキー in ハチ高原①				21日(土)~22日(日)	1泊2日
6 ファミリースキー in ハチ高原②	2月 11日(土祝)~12日(日)	1泊2日	家族	35名	70名
7 シニアスキー in 志賀高原				中旬頃	1泊2日
8 春休みよくばり妙高スノーキャンプ	3月 28日(火)~31日(金)	3泊4日	小1~中3	32名	128名

7. 浪速アイススケート場

4 事業 120 名 延べ 120 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 スケート教室 in 浪速アイススケート場	6月 12日(日)	日帰り	小1~小6	30名	30名
2 スケート教室 in 浪速アイススケート場	9月 23日(金祝)	日帰り	小1~小6	30名	30名
3 スケート教室 in 浪速アイススケート場	1月 15日(日)	日帰り	小1~小6	30名	30名
4 スケート教室 in 浪速アイススケート場	2月 23日(木祝)	日帰り	小1~小6	30名	30名

8. 東大阪市立野外活動センター「自由の森なるかわ」

1 事業 32 名 延べ 64 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 こどもの日キャンプ（東大阪市立野外活動C）	5月 4日(水祝)~5日(木祝)	1泊2日	家族	32名	64名

9. 奥越高原青少年自然の家（福井県大野市）

2 事業 64 名 延べ 160 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 GW恐竜の森キャンプ	4月 29日(金祝)~5月1日(日)	2泊3日	小1~小6	32名	96名
2 恐竜発掘・化石掘りキャンプ	11月 12日(土)~13日(日)	1泊2日	小1~小6	32名	64名

10. 大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

2 事業 200 名 延べ 200 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 春休みユースフェスティバル	4月 2日(土)、3日(日)	日帰り	一般	100名	100名
2 秋のユースフェスティバル	10月 未定	日帰り	一般	100名	100名

III. 機関連携事業

4 事業 508 名 延べ 984 名

事業名	日程	泊数	対象	定員数	
					延べ
1 摂津夏期チャレンジ（吉野宮滝野外学校）	8月 9日(火)~11日(木祝)	2泊3日	小4~小6	18名	54名
2 摂津冬期チャレンジ（ハチ高原）	2月 24日(金)~26日(日)	2泊3日	小4~小6	40名	120名
3 泉大津市春季キャンプ（府立少年自然の家）	3月 25日(土)~26日(日)	1泊2日	小4~小6	30名	60名
4 箕面市青少年キャンプ事業（箕面教学の森野外センター）	通年（7月~3月） 14事業+ネット上で写真展		5歳~小6	420名	750名
5 東大阪市青少年キャンプ事業（東大阪市立野外センター）	夏休み期間中 2~3事業		小学生	各回30名程度	

正味財産増減予算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

単位:円

科 目	令和4(2022)年度 当初予算(A)	令和3(2021)年度 当初予算(B)	増減(A-B)	令和4(2022)年度予算(内訳表)			
				実施事業(継続)	その他事業	法人会計	内部取引控除
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	1,030,000	1,030,000	0	0	0	1,030,000	0
基本財産受取利息	1,030,000	1,030,000	0	0	0	1,030,000	0
② 特定資産運用益	98,000	98,000	0	0	0	98,000	0
青少年基金利息	98,000	98,000	0	0	0	98,000	0
③ 受取会費	800,000	800,000	0	300,000	500,000	0	0
受取賛助会費	500,000	500,000	0	0	500,000	0	0
サポーターズクラブ会費	300,000	300,000	0	300,000	0	0	0
④ 事業収益	175,447,000	189,102,000	△ 13,655,000	1,072,000	191,245,000	0	16,870,000
青少年育成事業収益	100,082,000	81,792,000	18,290,000	0	116,952,000	0	16,870,000
青少年自立支援事業収益	1,072,000	1,072,000	0	1,072,000	0	0	0
機関連携事業収益	18,070,000	7,901,000	10,169,000	0	18,070,000	0	0
府施設運営事業収益	50,223,000	42,738,000	7,485,000	0	50,223,000	0	0
市施設運営事業収益	6,000,000	55,599,000	△ 49,599,000	0	6,000,000	0	0
⑤ 受取補助金等	2,280,000	570,000	1,710,000	0	0	2,280,000	0
受取国庫補助金収入	2,280,000	570,000	1,710,000	0	0	2,280,000	0
⑥ 受取寄付金	10,854,000	9,918,000	936,000	0	10,854,000	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金振替額	10,854,000	9,918,000	936,000	0	10,854,000	0	0
⑦ 雑収益	369,000	243,000	126,000	0	40,000	329,000	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	369,000	243,000	126,000	0	40,000	329,000	0
経常収益計	190,878,000	201,761,000	△ 10,883,000	1,372,000	202,639,000	3,737,000	16,870,000
(2) 経常費用							
① 事業費	197,713,000	219,530,000	△ 21,817,000	12,226,000	202,357,000		16,870,000
報酬(理事)	9,737,000	9,782,000	△ 45,000	607,000	9,130,000		
報酬	1,089,000	1,584,000	△ 495,000	0	1,089,000		
給料	53,218,000	60,567,000	△ 7,349,000	2,925,000	50,293,000		
職員手当	24,488,000	21,565,000	2,923,000	975,000	23,513,000		
退職給付費用	890,000	840,000	50,000	50,000	840,000		
共済費	13,574,000	13,933,000	△ 359,000	585,000	12,989,000		
福利厚生費	268,000	244,000	24,000	0	268,000		
賃金	5,186,000	9,951,000	△ 4,765,000	0	5,186,000		
賃金共済費	302,000	1,313,000	△ 1,011,000	0	302,000		
報償費	9,245,000	8,294,000	951,000	196,000	9,049,000		
旅費	7,701,000	8,353,000	△ 652,000	2,195,000	5,506,000		
消耗品費	6,650,000	4,906,000	1,744,000	476,000	6,744,000		570,000
印刷製本費	1,614,000	1,037,000	577,000	110,000	1,504,000		
食料費	13,302,000	13,335,000	△ 33,000	790,000	12,512,000		
光熱水費	2,460,000	4,116,000	△ 1,656,000	0	2,460,000		
燃料費	382,000	946,000	△ 564,000	36,000	346,000		
修繕費	180,000	1,397,000	△ 1,217,000	0	180,000		
通信運搬費	1,875,000	2,017,000	△ 142,000	0	1,875,000		
手数料	4,727,000	5,651,000	△ 924,000	24,000	4,703,000		
保険料	1,234,000	1,356,000	△ 122,000	96,000	1,138,000		
賃借料	23,970,000	27,361,000	△ 3,391,000	2,908,000	37,362,000		16,300,000
委託料	874,000	4,958,000	△ 4,084,000	0	874,000		
負担金	2,164,000	2,254,000	△ 90,000	234,000	1,930,000		
什器備品費	0	0	0	0	0		
原材料費	100,000	300,000	△ 200,000	0	100,000		
公課費	10,139,000	11,224,000	△ 1,085,000	19,000	10,120,000		
雑費	0	10,000	△ 10,000	0	0		
減価償却費	2,236,000	2,236,000	0	0	2,236,000		
支払利息	108,000	0	108,000	0	108,000		
② 管理費	2,311,000	2,313,000	△ 2,000	0	0	2,311,000	0
報酬(理事)	343,000	343,000	0			343,000	0
報酬	121,000	176,000	△ 55,000			121,000	0
給料	727,000	704,000	23,000			727,000	0
職員手当	329,000	330,000	△ 1,000			329,000	0
退職給付費用	10,000	10,000	0			10,000	0
共済費	226,000	218,000	8,000			226,000	0
福利厚生費	3,000	2,000	1,000			3,000	0
賃金	0	0	0			0	0
賃金共済費	0	0	0			0	0
報償費	5,000	0	5,000			5,000	0
旅費	15,000	18,000	△ 3,000			15,000	0
消耗品費	2,000	3,000	△ 1,000			2,000	0
印刷製本費	3,000	3,000	0			3,000	0
食料費	5,000	4,000	1,000			5,000	0
光熱水費	45,000	44,000	1,000			45,000	0
燃料費	0	0	0			0	0
修繕費	0	0	0			0	0
通信運搬費	4,000	5,000	△ 1,000			4,000	0
手数料	63,000	63,000	0			63,000	0
保険料	26,000	34,000	△ 8,000			26,000	0
賃借料	336,000	332,000	4,000			336,000	0
委託料	0	0	0			0	0
負担金	10,000	5,000	5,000			10,000	0
什器備品費	0	0	0			0	0
原材料費	0	0	0			0	0
公課費	26,000	19,000	7,000			26,000	0
雑費	0	0	0			0	0
減価償却費	0	0	0			0	0
支払利息	12,000	0	12,000			12,000	0
経常費用計	200,024,000	221,843,000	△ 21,819,000	12,226,000	202,357,000	2,311,000	16,870,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,146,000	△ 20,082,000	10,936,000	△ 10,854,000	282,000	1,426,000	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,146,000	△ 20,082,000	10,936,000	△ 10,854,000	282,000	1,426,000	0
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,146,000	△ 20,082,000	10,936,000	△ 10,854,000	282,000	1,426,000	0
一般正味財産期首残高	13,075,337	33,157,337	△ 20,082,000				
一般正味財産期末残高	3,929,337	13,075,337	△ 9,146,000				
II 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	△ 10,854,000	△ 9,918,000	△ 936,000				
当期指定正味財産増減額	△ 10,854,000	△ 9,918,000	△ 936,000				
指定正味財産期首残高	102,797,777	112,715,777	△ 9,918,000				
指定正味財産期末残高	91,943,777	102,797,777	△ 10,854,000				
III 正味財産期末残高	95,873,114	115,873,114	△ 20,000,000				